

事業の実績	
	<p>12月2日(土)、本学の総合体育館において、託麻原小学校の児童および近隣の小学生(1~6年生)13名を対象に「クマガク・マルチスポーツ体験」を実施した。ライフ・ウェルネス学科の教員4名とサポート学生15名が参加し、熊本学園大学のスポーツ資源を活用したスポーツの体験イベントとして、下記の競技を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこでぶっちぎる5つのポイント(担当者:高橋) ・ケガ予防のための安全な柔道あそび(担当者:石橋) ・Enjoy soccer!(担当者:立木) ・なげる・とるがわかる、わくわくドッジボール体験(担当者:松田)
具体的な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこでぶっちぎる5つのポイント(担当者:高橋) <p>ミニハードルを使用した基本動作の指導や30m全力走の電気計時による測定を実施した。サポート学生も十分に機能し、円滑にイベントを運営することができた。対象者らが楽しそうに一生懸命取り組む姿勢が印象的であった。</p> ・ケガ予防のための安全な柔道あそび(担当者:石橋) <p>転倒して後頭部を打たないように、後ろ受け身を中心に実施した。安全な転び方など柔道部員の協力のもと、最後はマット上にて小学生が大学生を投げるという感覚を体験し、ケガなく無事に終了することができた。</p> ・Enjoy soccer!(担当者:立木) <p>体全体でボールを操る「ボールフィーリング」やドリブル、スラローム、キックターゲットなど対象年齢に合わせたボールを使用し、最後はミニゲームを実施した。ゲーム性を持たせた内容に全員が夢中になってゴールを目指し、終始笑顔を見ることができた。</p> ・なげる・とるがわかる、わくわくドッジボール体験(担当者:松田) <p>投球・捕球の基礎的スキルについての情報を中心に共有・体験し、ゲームを実施した。全員が積極的に話を聴き、楽しんでゲームを行っている姿が印象的であったが、時間的な制約があったことから、スキルの獲得までには至らなかったことが課題として挙げられる。</p> <p>今回実施した競技において、基礎的運動能力でもある「走る・投げる・蹴る」に加え、身を守る動きは、運動・スポーツを楽しむための基礎作りの一環になるのではないかと考える。今後は、さらにフィールドを広げ、地域貢献に寄与していきたい。</p>